

花川病院に入院されたことのある患者さんおよびそのご家族の方へ

当院では、下記の臨床研究を行っております。本研究の対象者に該当する方で、研究のためにご自身のデータが使用されることを望まれない場合やご不明な点がございましたら、お手数ですが末尾の担当者までお知らせください。

【研究課題】

回復期リハビリテーション病棟におけるヒヤリハット・転倒インシデントの要因分析
- テキストマイニング手法を用いた探索的研究 -

【研究機関名及び自機関の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 医療法人 喬成会 花川病院

研究責任者 中農郁美・リハビリテーション部理学療法科

【研究期間】

承認日～2026年4月30日

【対象となる方】

研究対象者は2021年1月1日から2025年3月31日までに当院で報告されたインシデントレポートに関連する事例とします。

【研究目的・意義】

当院では、回復期リハビリテーション病棟に入院された患者様のインシデントデータを用いて、転倒予防を目的とした研究を実施しております。本研究では理学療法場面と病棟生活場面の両者を包括的に捉え、インシデントを「ヒヤリハットのみ」「ヒヤリハットから転倒」「転倒のみ」の3群に分けて比較・解析します。これにより単なる注意喚起に留まらない、場面ごとの特徴語や発生プロセスの差異を可視化し、多職種連携を基盤とした実効性の高い転倒予防策を策定する根拠の提示を目指します。

【研究の方法】

当院で報告されたインシデントレポートを利用します。本研究は、過去の診療録を用いた後ろ向き観察研究であり、新たな検査や介入を行うことはありません。また、データの取り扱いについては、個人情報保護法および関連ガイドラインを遵守し、匿名化を行った上で解析を実施します。使用するデータは、転倒に至る事例と未然に防げた事例の記述上の特徴を明確化すること、得られたキーワードグラフや特徴語をスタッフへの危険予知トレーニング（KYT）やチームカンファレンスにおける「共通言語」として活用し、安全な医療体制の構築と転倒事故の低減に寄与することを目的に利用します。本研究では形態素解析と共起ネットワーク分析と自己組織化マップ(SOM)とメタデータと抽出語との共起性分析を実施します。解析にはR version 4.5.2を用います

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の獨創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の保護】

本研究に関わって収集される情報は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。取得した情報は、解析する前にあなたの氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、どなたのものか分からないように匿名化処理をします。

本研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先に、末尾に記載されております掲載日から60日以内にご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌などで公表します。

本研究は、花川病院倫理委員会の承認を受け、花川病院病院長の許可を受けて実施するものです。

本研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

2026年3月31日

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：中農 郁美

連絡担当者：中村 洋平

〒061-3207 石狩市花川南7条5丁目2

医療法人 喬成会 花川病院

電話番号：0133-73-5311

Email: reha@kyouseikai.jp